

入院診療計画書 乳房の手術を受けられる

様へ 疾患名(乳癌)

経過	手術前・手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目～退院
暦日	/	/		/	/	/	/ ~
処置 治療 検査	麻酔科診察があります 弾性ストッキングの測定し、履きます 手術する側の手の甲にマジックで印をつけます	病衣・下着に着替え、 義歯・貴金属は はずしてください  朝に検査があります	麻酔が覚めるまで 酸素します。 術後は時々 深呼吸しましょう 	歩けるようになったらストッキングを外します  採血 	浸出液を出すための管(ドレーン)は 1日量が30ml以下の日が2日間続いてから抜きます		退院 
注射 薬	いつも飲んでいる薬を確認します 	手術2時間前に 点滴します 		食事が取れれば点滴は終了です 内服薬を再開します 			会計後に 次回外来の説明をします
食事 栄養	夜9時以降は食べられません 	手術3時間前より 水分止め 	麻酔が完全に 覚めたら 水が飲めます 	朝 後1日目朝から食事が食べられます 		腕が疲れると きは枕などで 腕を高くして 休みましょう 	退院後注意したいこと
排泄		手術室へ移動する前に トイレを済ませてください 	尿管が入ります 	尿管を抜きます 			手術した方の腕は使 いすぎないようにし ましょう
安静 リハビリ	自由にお過ごしください 	歩いて手術室へ移動します (状況によっては車椅子やベッ ドで移動することもあります)	血栓予防のため 積極的に 足は動かしましょう 手術した方の腕は、 無理に力を入れたり 動かしたりしないよう にしましょう	初めて歩くときは看護師が付き添います その後は積極的に散歩をしましょう (術後リハビリは手術の内容によって理学療法士が行う場合もあります) 術後から「管が抜ける前の用紙」のリハビリを午前・午後に行いましょう 管が抜けてから「管が抜けた後の用紙」のリハビリを午前・午後に行いましょう 本格的な運動は管(ドレーン)が抜けてから始めます			重い物を長時間持た ないようにしましょう ひぶくれになるような 強い日焼けを避けま しょう 土いじりなどの作業 には手袋をしましょう もし、けがをした後に 腕全体が熱を持った り、赤く腫れてくるよ うなことがあれば受診 しましょう
清潔	手術部の毛を処理し ます 	シャワー浴可	体をふきます 	ドレーンが抜けた 翌日医師許可出れば シャワー浴ができます 			
その他	看護師から入院生 活の説明があります 	医師から手術の説 明があります 	貴重品は必ずご家族の方が 管理してください 	医師から手術結果の 説明があります	腕のむくみ・しびれを 感じるときは お知らせください 	診断書・証明書が必要な方は 文書窓口へ提出をお願いします 担当医 看護師 (本人・家族) 令和 年 月 日	
	《手術準備物》 タオル2枚 ティッシュペーパー1箱	ご家族の方は手術が終わるまで 病棟デイルームでお待ちください					

* 状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がありましたらお尋ねください。

2026.2.19